ROTARY WEEKLY

HIROSHIMA KUKO ROTARY CLUB WEEKLY

広島空港ロータリークラブ週報

人類に奉仕するロータリー

会長　松本邦雄 / 副会長　橋濱智美 / 幹事　佐々木正親 / ＳＡＡ　鶴田秀樹

2017年4月5日発行

事務所　〒729-0417　三原市本郷南6丁目3-26番地　三原臨空商工会内2F

TEL 0848-86-0986・FAX 0848-86-0992・E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp・http://hiroshima-kuko-rotary.jp/

例会場　〒729-0416　三原市本郷町善入寺64-25　広島エアポートホテル　TEL 0848-60-8111　FAX 0848-86-9222

APL 1 2 3 4 **5** 6 7 8 9 10 11 **12** 13 14 15 **16** 17 18 19 20 21 22 23 24 25 **26** 27 28 29 30

花見例会　例会　沼田川クリーン例会　休会　例会

本日のプログラム（4月5日）

花 見 例 会

（通常通り 12:30～広島エアポートホテル 2F）

次回のプログラム（4月12日）

堀内 至 会員「癌の早期発見」

第１０６８回　２０１７年３月２９日　例会記録

点　鐘…松本会長

ソング…「我等の生業」

出　席　報　告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 （免除）	出席率
本　日 (3/29)	27 1	17 1	4	7	74.07
メイク	灰谷・佐々木				
前々回 (3/ 18)	27 1	13 1	6	8	70.37
メイク	大下・河井・佐々木・鶴田幸彦・楠部・重森				

食　事　時　間

MENU

春キャベツと彩り野菜サラダフレンチドレッシング

玉子とワカメのスープ

豚肩ロースの香草マリネリデミソース

パン・コーヒー

大塚惟弘さん退会式

皆さん本当に短い間で大変申し訳ないのですが、2年間お世話になり本当にありがとうございました。

私が入会させていただいて第一印象は、違和感がなく、どなたとも気軽にお話ができる雰囲気のクラブで、非常にリラックスして毎週水曜日の例会で皆さんにお会いしお話しできることを楽しみにしていました。

私はいつも人との出会いを大切にしていまして、皆様と知り合いになることができ、私の人生の中では大切な財産であると思っております。このクラブからは離れてしまいますが、私も県内におりますのでゴルフなどで皆様とまた語り合える時間を過ごせたら嬉しいなと思います。皆様とのご縁を大切にしていきたいと思っていますので何卒引き続きよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

会　長　時　間

大塚様２年間大変お世話になりました。もう少し長く一緒に活動をしたかったのですが残念です。後任の伊藤保様が本日例会見学においでくださいました。来週は入会式を行う予定ですから皆様温かく迎えてあげてください。

早いもので今日は３月末の例会です。「1 月は行く、2 月は逃げる、3 月は去る」と言われますが、本当に 1 日 1 日が早く感じられます。私も 1 月からずっとバタバタしていましたが何とか 3 月 18 日から例会に出席することが出来るようになりました。皆様に大変ご迷惑をお掛けしたと思いますが、残り 3 か月何とか全うしたいと肝に銘じて日々過ごしていますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

副　幹　事　報　告

《配 布 物》週報1067号、卓話資料
　　米山学友会会報
《回　　覧》米山奨学生カウンセラー所見
　　ガバナー杯途中経過
　　三原本郷 LC さんより CN50 周年お礼
　　2019-20 年度ガバナー予定者決定のお知らせ
　　広島弁護士会シンポジウムの案内
　　複数クラブ合同グローバル補助金申請について
　　沼田川クリーンキャンペーン出欠表
　　日時　2017 年 4 月 16 日(日)8:30～
　　4 クラブ親睦ゴルフコンペ
　　日時　2017 年 5 月 14 日(日)8:30～
　　地区協議会開催のご案内
　　日時　2017 年 4 月 23 日(日)13:00～

卓　話　時　間

広島県環境保全アドバイザー
広島県地球温暖化防止活動推進員
三原市議会議員(是々非々の会)

安藤 志保 様

「人々と地球のために私たちの世界を転換させよう」

本日はお招きいただきまして、ありがとうございます。皆様方の活動に少しでも役立つお話をさせていただくことができればと思います。本日はよろしくお願い致します！

自己紹介

1998年　ネットワーク『地球村』高木善之さんを招き講演会
1998年～現在　「環境・平和・命」をテーマに市民活動団体発足
2000年～現在 広島県環境保全アドバイザー
2001年～2012年 エフエムおのみちで「そぼくなエコ」担当
2002年　ヨハネスブルグ地球サミットに参加
2003年　広島県内80市町村議会に対し「政府に『イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書』提出を求める陳情」
2004年～現在　三原やっさ祭り「ゴミへらし隊エコレンジャー委員会」
2004年～現在 広島県地球温暖化防止活動推進員
2005年～2006年 広島県「環の応援団サポーター養成支援事業」講師
2007年　「豪快な号外」配布　広島県リーダー
2009年　アマゾンの森林破壊、アグロフォレストリー視察、植林参加
2012年　「みんなのエネルギー・環境会議　広島」主催
2012年～2015年 広島連塾Sus☆テラス代表

◆環境講演会をきいて、「わー大変！」と思って、グループをつくって活動を始めました。環境のことを初めに知った時は.子ども達が育っていく未来がものすごく心配になり、憂諺な気持ちになりました。
ネットワーク『地球村』高木善之さんの**『自分が変われば、まわりが変わり、世界が変わる』**という言葉に出会って、「そうか自分が変わることで、世界すら変えることができるのだ！」と希望を見出して、動き始めました。「自分が変わる」を続けてきた結果、市議会議員にまでなってしまいました。

◆だんだんと「人に伝える活動」にシフトしてきました。

◆イオンチアーズクラブの環境学習講師をさせていただき、三原店様が全国大会で入賞されるようになりました。

◆環境学習は、大人対象の講演、子ども対象の体験学習を行う場合が多いのですが、あるご依頼で、【小学生と地域の大人】を対象にした環境学習をさせていただきました。小学生の感覚と大人の感覚をつなぎ合わせる中で、暮らしの変化、エネルギー使用量の変化、身近な環境の変化がはっきり浮き彫りになったのが、興味深い講師体験です。

◆東京電力の原発事故を受けて、居ても立っても居られず…"Food Energy Careの自給圏づくりに向けて、広島県内の環境団体、生協、森林組合、ワーカーズコープなどの共同組合の方々と一緒に取り組み始めました(Sus☆テラス、「みんなのエネルギー・環境会議」)。

環境問題を書籍で振り返る

「沈黙の春」1962年:DDTを始めとする農薬などの化学物質の危険性を、鳥達が鳴かなくなった春という出来事を通し訴えた。レイチェル･カーソンは批判を受けて不遇の人生。

「成長の限界」1972年:人口増加や経済成長を抑制しなければ、地球と人類は、環境汚染、食糧不足など100年以内に破滅――その衝撃の警告

「限界を超えて」1992年：ローマクラブ・レポート『成長の限界』続編。コンピュータモデルを駆使して地球の未来を検証。限界を超えた人類に警鐘を鳴らす。
現在は、地球15個分の資源消費をしてしまっている。世界中の人が、日本人と同じライフスタイルになったとしたら、地球2．4個必要。

「地球に残された時間」2012年：刻々と忍び寄る文明崩壊の危機。私たちはどこへ
向かい、何をすべきなのか?日本のエネルギー政策が進むべき道も照らす、環境問題の世界的第一人者レスター。R･ブラウンから送られた希望の書。

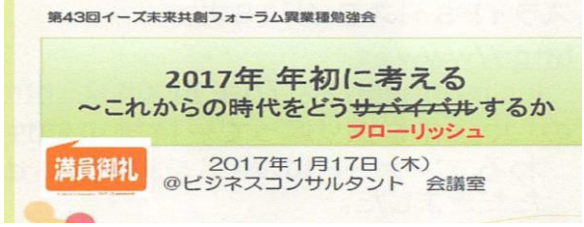
「成長の限界人類の選択」2016年：地球の温暖化はすでに限界を超え鶴崩壊への予兆が見え始めた。世界を震憾させた「成長の限界」が最新データをもとに、未来への最後の選択を迫る。最新データが描き出す崩壊の予兆と再生のシナリオ。

種の絶滅速度（1年間に絶滅する種の数）

恐竜時代	0．001種
1600～1900年	0．25種
1900～1975年	1種
1975年	1，000種
1975～2000年	40，000種
2010年	75，000種

地球環境の現状を表す指標の1つ。生物種の絶滅速度。私が環境問題に出会った時に、「1日に100種の生物が地球上から姿を消している」という事実を知り、驚愕したが、今、その2倍となってしまっている。2010年は、名古屋で、生物多様性条約COP10が開かれた年。

イーズ未来共創フォーラム異業種勉強会より



こんな現状を変えたい！という人たちと、異業種勉強会に参加しています。http://www.es-inc.jp/
今年の第1回のテーマは「これからの時代をどうサバイバルするか』ですが、「生き残る」という感覚より、「繁栄する」、「どうしたら豊かになれるか」ということが大事でと、当日タイトル変更。

「2016年を振り返って～持続可能性に関わるアンケート」

◆地球環境が悪化したか、良くなったか
良くなった 0 少し良くなった3%　変わらない8%
悪化した・少し悪化した　89%
「悪化した・少し悪化した」と思う理由
異常気象・気候変動・CO2排出量の増加（54人）
原発事故の未解決・原発再稼働（6人）
「少し良くなった・良くなった」と思う理由
パリ協定などでの意識の高まり（1人）
河川がきれいになった（1人）
◆世界の持続可能性への取り組みが悪化したか、良くなったか
良くなった：２%　少し良くなった：35%
変わらない：28%　少し悪化した：16%
悪化した：19%
「悪化した・少し悪化した」と思う理由
資本主義経済第一、自国優先主義への傾向（9人）
格差・紛争・テロ・貧困の拡大や増加（4人）
トランプ政権への懸念・不安（3人）
「少し良くなった・良くなった」と思う理由
パリ協定が発効（20人）
SDGsの取り組みが増えてきた（5人）
◆日本の持続可能性への取り組みが悪化したか、良くなったか
良くなった：０%　少し良くなった：14%
変わらない：31%　少し悪化した：25%
悪化した：30%
「悪化した・少し悪化した」と思う理由
原発再稼働（15人）経済優先・安倍政権の政策（11人）石炭火力発電の推進（3人）
「少し良くなった・良くなった」と思う理由
民間・一般の意識の高まり、よい取り組み（5人）
技術革新・河川がきれいになった（1人）
◆2016年の「持続可能性に関わる10大ニュース」
パリ協定・COP21・SDGs（65人）
原発関連（廃炉や政策について）（34人）
トランプ大統領誕生（31人）
異常気象関連（氷面積の減少含む）（24人）
電力自由化（17人）難民・テロ・シリア（9人）
中国関連（環境問題、政策、体制など）（8人）
イギリスEU離脱（7人）日本の人口減少・高齢化（6人
小池都知事・オリンピック（6人）
◆2017年、持続可能性に関わるどのような動向に注目しますか？
トランプ新政権（アメリカ）の動向（46人）
地球環境（温暖化、気候変動）（46人）
エネルギー（42人）日本の原子力政策（23人）
パリ協定、COP21（16人）SDGs（11人）

「SDGs」とは？

・Sustainable →持続可能な
・Development →開 発
・Goals →目標

2015年9月25日「持続可能な開発ｻﾐｯﾄ』で、
193の加盟国全会一致で採択

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

目 標 １：あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
目 標 ２：飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
目 標 ３：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
目 標 ４：すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
目 標 ５：ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
目 標 ６：すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
目 標 ７：すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
目 標 ８：すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する
目 標 ９：レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
目標１０：国内および国家間の不平等を是正する
目標１１：都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
目標１２：持続可能な消費と生産のパターンを確保する
目標１３：気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
目標１４：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
目標１５：陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
目標１６：持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
目標１７：持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

日本での「SDGs」取り組み

持続可能な開発目標(SDGs)推進本部

持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）に係る施策の実施について、関係行政機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進するため、全国務大臣を構成員とする持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）推進本部を設置しています。

「持続可能性』は地球環境だけの問題ではない

高崎経済大学経済学部教授博士(経営学)水口剛先生の資料よりご紹介。

◆SDGs推進の方法①:多くの人に知ってもらう

資本主義の3つの限界

・低金利・ゼロ金利

（資本が利益を生まない時代、フロンティアの喪失）

・地球の環境容量の限界

（短期主義の利益追求、長期的視点で環境に取り組む視点の欠如）

・経済格差の拡大◆SDGs推進の方法②:投資家による選択

企業の評価基準として

・自然資本を守る
・公正な分配を実現する
・人権侵害に加担しないなどを含める
・環境破壊、人権侵害などを伴う事業、企業に投資しない

◆ESG投資:日本では1%、ヨーロッパではすでに6割

ﾄﾖﾀが「全てのサプライチェーンを含めてCO2排出ゼロ」を宣言。中小企業を含めて全ての企業に影響

三原市の地域経済

◆三原市のGRP（≠GDP）が約4000億円
1人あたりGRPは近隣市町よりも高いが、「三原は元気がない」と言われる。原因はいかに？分配の問題？充分な調査研究ができていないが、調べていきたい課題

お願いしたいこと

・日本で廃棄される食料は年間約1800万トン、そのうちまだ食べられるものが500～800万トン
・これは日本で年間に生産される米の量とほぼ同じで、およそ4800億円の商品価値（600円/kgで換算）
・廃棄のためのエネルギーも必要

フードロスは、深刻な問題として輪「食品ロス肖り減関係省庁等連絡会議」を構成する6府省（消費者庁、内閣府、文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省）での取り組みが行われています。

1. 買い過ぎない2. つくり過ぎない3. 注文し過ぎない

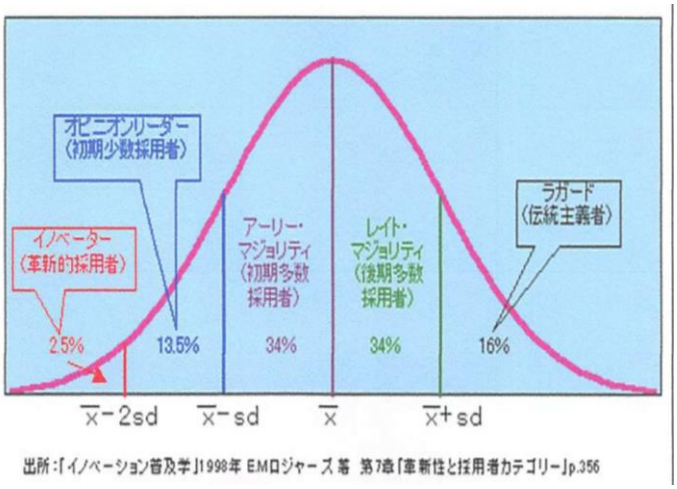
使った廃油は 684.5L・走行距離5079Km・救出した食材 690 kg
「捨てられてしまう食材を救い出し、おいしい料理に変身させよう！」と考えた食材救出人のダーヴィドが廃油で走るキッチンカーでヨーロッパ5カ国の旅へ出発する

食材廃棄をなくす"0円**キッチン**"の旅

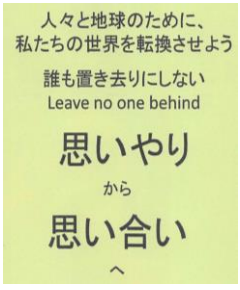
"世界の食料の3分の1が捨てられている，"
この現状を変えるため、ダーヴィドは欧州5カ国を5週間、廃棄食材しか食べずに旅します。
食材費は全部0円！ダーヴィドのアクション！
・食堂から車の燃料となる廃油を調達（オーストリア）
・一般家庭の冷蔵庫を抜き打ちチェック
・捨てる予定の食材や賞味期限切れの食材を救出クッキング（ドイツ）
・アプリを使って町に自生する果物を調達
（ベルリン郊外）
・海に捨てられる混獲魚でスープを調理（フランス）
・欧州議会食堂でゲリラクッキング（ベルギー）
・未来のオトナたちと昆虫食を食べ比べ（オランダ）

3月25日に上映会をしました。4月23日に、映画を見ての感想や出来ることなど、トーク会予定。

大人になったら、世界のめぐまれない子どもたちにごはんをあってわたしたい。そのために、がい国ごのべんきょうをしていろんなことばがはなせるようになりたい。「それまでがんばってまってててね」（桜井大輝／小学校1年生）



◆三原で、誰も言わないようなことを言い続けてきて、ゆっくり少しずつ共感してくださる方が増えてきたかな…と感じています。



◆「思いやり」…
良いことだけど･･･一方通行？
思い合う、思いが循環していくまちにしたい！！

ご清聴ありがとうございました。

Rotary
THE ROTARY FOUNDATION 100 YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD
RI日本事務局 財団室 NEWS
2017年4月号
母子の健康月間
発行日
2017/3/30
人類に奉仕するロータリー

元国連難民高等弁務官であり、元ロータリー国際親善奨学生の緒方貞子氏に、2016-17 年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。

外交官の家族に生まれた緒方氏は、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国ワシントン D.C.のジョージタウン大学大学院へ留学。1951 年、日本人として 2 人目のロータリー国際親善奨学生となりました。

「ロータリー奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて、見識を広げ、さまざまな経験ができた」と緒方氏は振り返ります。「『超我の奉仕』というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」

カリフォルニア大学バークレー校から博士号を取得後、日本に帰国した緒方氏は、現在ロータリー平和センターがある国際基督教大学と早稲田大学で教鞭をとりました。その後、1991 年に国連難民高等弁務官（UNHCR）に就任。さらに、国連総会で日本代表、国連日本政府代表部とユニセフの執行理事会議長も歴任しました。

国連難民高等弁務官としての 10 年間、緒方氏は、湾岸戦争、ルワンダと旧ユーゴスラビアでの民族紛争、冷戦時代のアフガニスタン紛争における難民、そして旧ソビエト連邦から逃れてきた難民を支援しました。

難民問題と国際的な安全保障には深い関係があると訴えることで、国連難民高等弁務官事務所の予算と人員を拡大。国連安全保障理事会との関係を強化し、その貢献が高く評価されています。「難民を守ることは、その性質上、論争の的となり得る」と緒方氏。「行動を重んじるダイナミックな（UNHCR の）活動を実行するには、主権国家に挑むことが求められます。これらの国は自国民以外、そして時には自国民への対応に迫られるからです」

2000 年に UNHCR を退職後も、政府や国際関係の舞台で積極的に活動し、国連人間の安全保障委員会共同議長やアフガニスタン支援日本政府特別代表などを歴任。国際協力機構（JICA）の理事長を 2 期務めたほか、小泉純一郎元首相が設置した有識者会議のメンバーとしても活躍しました。政府関係の仕事に携わったことで、変化をもたらす民間人と市民グループの力を知ったと緒方氏は話します。

「私たちは急速に変化する世界に生きています。世界がこれまでになく複雑な脅威にさらされている中で、市民社会の役割や人びとのつながりが、これまで以上に重要性を増しています」